

幌延町内の交通安全運動を推進する「幌延町交通安全推進協議会」の実動部隊として、お年寄りや子どもにも街頭指導を行う交通安全指導員。幌延町の交通事故死ゼロ3000日の達成は、指導員の地道な活動抜きには語れません。14人の指導員をまとめる指導員歴最長33年の村元英一指導部長にお話を伺いました。

Q. 10月4日を迎え、交通事故死ゼロ3000日を達成しました。今のお気持ちは。

「8年3カ月にわたり、町内で死亡事故がなかったことは本当にうれしいです。指導員一同、特に子どもたちや高齢者をお守りしなければと心一つにして、目配りをしてきました」



交通安全指導部長 村元英一氏

Q. ふだん、指導員はどんな活動をしていますか。

「新入学時期をはじめ、春夏秋冬の交通安全週間の街頭指導のほか、神社祭や名林公園まつりなど各イベントの交通整理で60日間ほど街頭に立っています。特に気を引き締めるのは、人や車が多くなる祭りの時。車と人の接触の可能性が高くなる「斜め横断」をする人を見かけたら必ず注意を呼びかけるなど、地道に交通安全の啓発をしています」

Q. 指導員のやりがいを感じるのはどんな時でしょうか。

「交通安全の啓発はすぐに効果があるわけではないではありません。ただ、小学生に自転車の乗り方を指導する「青空教室」は毎年楽しみにしています。子どもたちが指導員の言葉をよく聞き、丁寧に歩道を運転してくれる。その様子を見るのが好きで、将来の幌延を担う子どもにしっかり私たちの思いを伝えようと思います」

Q. 今後の活動の思いをどうぞ。

「私たちの願いは、町内で交通死亡事故ゼロがずっと続くことです。3000日の達成は、あくまで通過点

でしかありません。これからも町民の皆さんが健やかで楽しく安全に過ごせることができるよう指導員一同で頑張っていきたいと思いますので、皆さんにも事故を起こさないよう協力をしていただければと思います」

交通安全指導員の活動のほか、PTAや事業者、警察など多くの人たちに交通安全推進活動への協力をいただいています。その一部を紹介いたします。

問寒別小の児童に、交通ルールを教える天塩警察署の問寒別駐在所長



自転車の乗り方を指導する青空教室



ヤマト運輸が開いたトラック運転手の視界の狭さを伝える授業